

ずいそう

披露宴

鈴木基行



職業柄、結婚披露宴の主賓や乾杯の発声を頼まれることが多いが、最初に主賓を依頼されたのが30歳くらいのときの助手のときである。読者の方々にそんな年で主賓を依頼された方は恐らくいないであろう。新郎は研究室の教授に主賓を依頼したのだが、同じ日に他の結婚式に招かれていて、私にお鉢が回ってきたのである。当時、何を話したか全く覚えていないが、そのときの新郎新婦の子供が、親と同じ大学に入り、同じく土木工学を志望し、さらに同じく当研究室を希望してきたときにはびっくりした。その彼ももうすぐ大学院を修了し社会人となる。

披露宴に招かれ同じ話をするわけにもいかない。なぜなら、同期の友達から近い将来、披露宴に招待を受ける可能性があり、そこでまた同じような話はできないのである。私は研究室に配属になった4年生には作文を書かせている。「これまでの人生を振り返り、大学卒業後の希望・理想・夢とする技術者像など何でも良いから記述せよ」との宿題を1ヶ月後に提出させている。皆まじめに記述してくる。土木を志した動機、これから就きたい職業・職種とその理由、将来の自分の技術者像、社会状況の分析などきわめてまじめに考えてきている。大学に入りこのような作文を書くのは、たぶん初めてであり、2000字程度の文章にも四苦八苦している努力のあとが見られる。実は、教え子の結婚式に招待を受けたときには、この作文を読み直して話す内容を考えることにしている。そうすれば同じ話をせずすむわけである。また、改めて学生の作文を読み直してみるとなかなか良いことを書いているなあ、と感心することもある。

これまでに、披露宴に何十回となく招待を受けていて、いろいろな方々の話を伺っていて、今でも覚えている話が2つある。紹介してみたい。

一つ目は「悪魔」の話である。知っておられる方もいるかもしれないが、紹介してみたい。結婚式の披露宴に「悪魔」の話は不謹慎と怒られる方もおられるかもしれないが、これは私が初めて友達の披露宴に出席した時の、その友達の伯父さんの祝辞であり、とてもいい話であったので今でも覚えている。

人間には5匹の悪魔が棲んでいるそうです。「おこ

る悪魔」、「いばる悪魔」、「あせる悪魔」、「くさる悪魔」そして「まける悪魔」の5匹だそうです。これらの悪魔を呼び出すのは簡単で、「おいあくま」と呼べばよいそうです。ちなみに「おいあくま」は5匹の悪魔の名前の頭文字をとって並べたものです。これら悪魔は普段は見えない所に潜んでいるのですが、何かの拍子に面（おもて）に出てきて本性を現し、人間関係をぎくしゃくさせたり、判断力や思考力を損ねさせたりする羽目になり、やがて自暴自棄の状態に陥ってしまうそうです。したがって、そうならないようにするためには、この5匹の悪魔が暴れないように鎮めなければならないが、比較的簡単な方法により鎮めることができます。これらの「悪魔」の好物は「菜っ葉」であり、悪魔が暴れそうになったときには「菜っ葉」を与えればよい、との話であった。どういうことかと思ったら、「菜っ葉」は「菜(ナ)」で、5匹の悪魔に「ナ」を与えればよいとのことであった。「ナ」を与えれば「おこるナ」、「いばるナ」、「あせるナ」、「くさるナ」そして「まけるナ」となり、悪魔はたちどころに鎮まるとのことであった。この話は、これまで時々思い出しては反省しているが、なかなか実践できない。私の体には相変わらず5匹の悪魔が棲み続けているようである。

二つ目の話は、昨秋の披露宴でのことである。宴もたけなわになって、新郎の親戚の方々が心あたたまるお祝いの歌を歌い終わったところで、人生経験豊かな伯父さんが「オイ、@@（新郎の名前である）、大変なのはこれからやで」と、コブシをまわし、大阪弁でまくし立てたので、参列者一同賛同の拍手であった。結婚式や披露宴ではお祝いの言葉や励ましの言葉が溢れるが、これからの人生の大変さ、厳しさをこれほど直接的に如実に表現した言葉や表現はなかった。印象に残る披露宴であった。

昨今、土木業界をめぐる景気や状況はきわめて悪く、他の業界に比べてなかなか希望が見えてこない。しかし、土木技術者の使命や役割は以前にも増して重要となっており、新規の社会基盤施設の計画・設計・施工・維持管理に加え、莫大な数に及ぶ既存構造物の維持管理や補修・補強など以前には考える必要のないこ

とまで考慮しなくてはならなくなっている。特に、地震や津波、土砂災害、洪水など多種多様な巨大自然災害に対し、被害を少しでも軽減させる技術は土木工学であり、担うのは土木技術者である。今後もその使命に変わりはない。土木工学を学ぶ学生や社会に巣立

っていく卒業生が、初心を忘れず、その使命に向かって誇りと自信をもって立ち向かっていただきたい、と心から願っている。

—すずき もとゆき (社)日本建設機械化協会 東北支部 支部長
東北大学大学院工学研究科教授—

建設機械ポケットブック ＜除雪機械編＞

本書では、除雪機械について事故や故障を未然に防止するための主要な点検項目や点検時の留意点などを整理しました。日常点検や定期点検・整備における基礎資料として活用され、点検、整備および修理を的確かつ効率的に実施し、道路の維持除雪工事を安全で適正に施工するための一助となれば幸いです。

監修／国土交通省北海道開発局事業振興部機械課
発行／社団法人 日本建設機械化協会

目次

1. 整備点検のあらまし
2. 除雪トラック

3. 除雪グレーダ
4. 除雪ドーザ
5. ロータリ除雪車
6. 小形除雪車
7. 凍結防止剤散布車
8. 資料編

●パスポートサイズ／87ページ

●平成17年9月発刊

●定 価

1,000円（本体953円）送料250円

※送料は複数冊申込みの場合、又は他の図書と同時申込みの場合、割引となる場合があります。

社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館)

Tel. 03 (3433) 1501 Fax. 03 (3432) 0289 <http://www.jcmanet.or.jp>